

六花の輝き

<教育目標>

喜んで登校し、
生き生きと学ぶ子ども

〒943-0805 上越市木田3-1-25

TEL 025-523-3858 FAX 025-525-7188

E-mail takashi@jorne.or.jp

◎静かに 確実に

校長 遠藤 和英

昨年、一昨年と違い、雪のない正月を過ごすことができました。おかげ様で、新型コロナウイルスの影響も徐々に少なくなり、また、市内で若干見られるインフルエンザに罹患する子どももなく、静かに3学期をスタートすることができました。

初日は、まだ、子どもたちの感染状況を把握できていなかったため、3学期の始業式は全校児童を体育館に集めることなく、放送を使って行いましたが、徐々に学校生活を正常に戻しつつあります。感染症の影響で2学期に行う予定を延期していた、「仲良しチャレンジ」を実施することができました。この「仲良しチャレンジ」は、1年生から6年生までの縦割り班ごとに、総務委員会が中心になって考えた、様々なゲームに挑戦していくのです。今回のゲームは3種類。ペットボトルを利用したボーリング、紙コップを使ったタワー作り、紅白球を使った玉入れです。これを3週間に分け、グループごとに1つずつ、昼休み時間を使って行っていきます。先日がその初日でした。

可能な限りいろいろな教室を回り様子を見てきたのですが、子どもたちは真剣に、そして笑顔で取り組んでいました。授業中とはまた違った姿を目にすることができ、実に微笑ましかったです。活動を終えて自分の教室に向かうたくさん子どもともすれ違いましたが、みな笑顔でした。その中の数人の低学年の子どもに、「どうだった?」と聞くと、笑顔いっぱい「めっちゃ楽しかった」という答えが、また、「またやりたい」「次は〇〇したい」なんていう答えも返ってきました。

今回取り組んだゲームは、子どもたちの手で準備したものですから、流行りのYouTubeや既成のゲーム機のものなどに比べると刺激は少ないものです。しかし、子どもたちがこれだけの笑顔や満足感を見せるっていうことは、やはりいろいろな学年の人たちと一緒にできたこと、よい雰囲気の中で行うことができたからだと思います。中でも、ゲームを中心になって進める高学年、特に6年生の影響は大きいです。彼らがよい雰囲気をつくってくれたからこそその下学年の笑顔、満足感だったと思います。きっと、活動の中で高学年の「頑張ったね」「うまいよ」「すごいね」「今度こうやってみたら」などの温かな言葉がたくさん聞かれたことでしょう。また、教室に向かう高学年もよい表情をしていましたので、下学年を満足させたという実感を持ち、人に楽しんでもらうことの喜びを感じてくれた子どもも多かったのではないかと思います。これらは、同学年で行う学習ではなく、異学年で行うこのような取組のなかでこそ育つものであり、そして学校ではこのような取組を大切にしていかなければならないと感じられたひとときでした。この取組はあと2回あります。子どもたちがどんな姿を見せてくれるか、楽しみにしています。

そうはいつでも、3学期。各学年のまとめの時期です。学校本来の役割である、学習面の力を伸ばすことも大切にしていきます。現在、各学級では、子どもたちも担任も、上の学年への進級をそして中学進学を視野に入れ、確実に学びを深めています。自覚が伴い、今まで以上に大きな成長を見せている学年・学級も出てきました。もちろん、よいことばかりではなく、登校に渋りを見せたり、友人関係に悩んだりしている子どもがいることも事実です。すべての子どもに目を向け、寄り添いながら、保護者の皆様と協力し、次の学年・学校により自信をもって進学進級できる力を培う3学期にしていきます。本年もよろしく願いいたします。

高志小学校ABCD

A:あたり前のことを**B:ほかにしないうで****C:ちゃんとできる人が****D:できる人(すごい人)**